

製品名: NBAS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14421**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	260kDa

抗原情報

遺伝子名	NBAS
別名	NAG
遺伝子 ID	51594.0
SwissProt ID	A2RRP1
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 1880-1960

背景

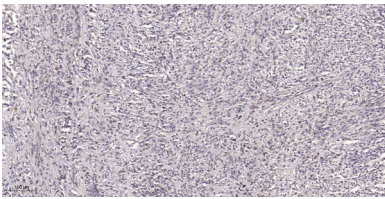
この遺伝子は、2つのロイシンジッパードメイン、リボソームタンパク質 S14 シグネチャードメイン、および Sec39 類似ドメインを持つタンパク質をコードしています。このタンパク質はゴルジ体から小胞体への輸送に関与していると考えられています。この遺伝

子の変異は、低身長、視神経萎縮、およびペルガー・ヒュート異常と関連しています。[RefSeq 提供、2012年10月]配列注意: stop と翻訳されています。配列注意: N 末端側が延長された翻訳です。類似性: 2つの WD リピートを含みます。組織特異性: 広く発現しており、心臓と骨格筋で最も高く、肝臓、小腸、胸腺で最も低い発現を示します。一部の神経芽腫細胞株では、N-myc と共にアップレギュレーションが認められます。、

研究分野

細胞生物学; その他の抗体

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸癌組織の免疫組織化学分析。1、NBAS ウサギポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、クエン酸ナトリウム pH 6.0 を用いて抗原賦活化 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温)